

## CL季刊誌講読所感

C. S.



### ◎CLニュース 奈良内観研修所閉鎖

約25年前、市内でCLを教えて下さったインストラクターの女性が、繰り返し三木氏のエピソードを話して下さいました。閉鎖に時の流れを思いました。長い間、お疲れ様でございます。

### ◎CLニュース レイノルズ先生からの近況

レイノルズ先生が、連続ドラマ「新参者」を10回分全て楽しまれたと書いて下さり、ほっこり致しました。実は私も再放送を観ておりました。毎回、一人を犯人かもとクローズアップするのですが、結局その人は犯人ではないのです。ドラマの冒頭から『この人は犯人ではない』と安心して観てられるハラハラしないドラマでした。

「日めくりCLポイント365日」からも、本、ビデオ、映画で心に休憩を与えることを教えて頂きました。

「楽しくするのもなすべきこと」を書いて下さった古松さんも、続けて映画を2本楽しまれたり、読書を楽しまれたり、私も罪悪感無しにドラマを楽しみリフレッシュできそうです。

### ◎新型コロナ感染死亡者の搬送現場から

胸が苦しくなるようなコロナ禍の緊張が伝わって参りました。感染しないだけでもお仕事は完遂なはずですが、更に、故人との最後の対面時間も作り出されていらっしゃることに、ただただ感服致しました。こんなに丁寧にお仕事をされている同業者さんは存在するのでしょうか。

コントロールできること、できないことを分けることも詳しく書いて下さり私にとって時宜にかなった内容でした。ありがとうございます。

11年前から恐れていたことが現実となり、私に試練の二週間が訪れました。CLの季刊誌を繰り返し読ませて頂き、吉澤様の記事を参考に、コントロールできること、できないことに分けて書き出すと、自分の成すべきことがハッキリし、余計なエネルギーを使わずに済みました。

努力することが幸福、結果はコントロールできないと自分に言い聞かせ、休み休み行動を続けると、二週間後、事実様から大きなプレゼントを頂きました。国内でも珍しく、とても恵まれた事例を継続して頂けることになりました。「日めくりポイント365日」でレイノルズ先生が書いて下さった『自分にしかできない仕事』でした。CLのお蔭です。ありがとうございます。

### ◎「どんな今日も、どんな年も、わたしらしく」

香菜恵さんは、最後に『だから、私はこれからもきっと大丈夫』と書いていらっしゃいました。『うん。うん』とうなずきました。CLを実践していらっしゃるから、香菜恵さんは大丈夫と思いました。

(^\_^)

おっといけない！「日めくりCL365日」でレイノルズ先生は『人は常に変化し、ときどき～の人、時々○○の人です』と教えて下さっていました。それでも、変化し続けていても、CLを実践しようと動いていれば、香菜恵さんも、私も大丈夫という安心感を持っております。

### ◎冬の号で1番センセーショナル

だったのは、むーらんさんが、白髪染めをされているということでした。考えてみますとCL季刊誌を読ませて頂くようになり25年近く経ちました。その頃むーらんさんは既に大人でインストラクターをされていたらっしゃいました。

「スマホ星人」の中で遠間さんが『年取るのは悪いことでも、若いのがいいでもない。自然なこと』と書いて下さったように、白髪染めは自然なことですね。

むーらんさんのコーナーの黒髪の若い女性のイラストに、私がとらわれていたのですね。


### ◎ピアノのお稽古

お隣りの中学生の女の子が、毎日ピアノのお稽古をするようになって半年が経ちました。前は週に1度程度だったと思います。毎日ピアノの音が聞こえ始めた頃は、イヤイヤしぶしぶかなという気配でした。それが最近はお稽古を自主的に楽しんで、気合いも入っている様子がピアノの音から伝わってきます。私も頑張らなくてとはと爽やかに自分の今日の課題のアレコレを始めます。

思えば半年前は、指がスムーズに動かないみたいで「あ～あ。また、つかえている」と無感動に聞き流していました。やがてスムーズに、1枚の布のようにサラリとレッスン曲が流れると、こちらもワクワクするようになりました。

と、それも束の間、次の課題曲に進むと難しくなり、指の動きが鈍い状態に戻ります。サラリと曲が流れる時は短く、なかなか曲が進まない時期のほうがはるかに長いのです。

自らの人生を振り返ってみると、両親、祖父母、親戚、先生、友人、ご近所はこんな風に練習の段階の私に付き合い、長く見守ってくれていたのではと気付かされました。クリアできたら、次の段階でつまずいてばかりが、また始まるのですから忍耐の連続でしたね。(岩手県大船渡市)

 [目次へ戻る](#)